

県外支部だより

関西支部

支部長 高木 淑 (37D)



紹介された貴重な文化財を直に感じることが出来ました。特に薩摩藩主島津斉彬所用の、大鎧が展示されており、織細で黄金に輝く島津家の家紋にはくわと五七桐が入って貴重なもので、通常は京都国立博物館にあるものが展示されています。他にも当時の貴重なものがあり、時間をかけて心行くまで見学できました。

その後、関西支部事務局を担当されることになった中里考完さん(非破壊検査)の就任歓迎親睦会(昼食会)で、充実した時間を過ごしました。参加者10名でした。

10月30日には京都友禅技能士21、22D卒加

埼玉支部

支部長 鈴木栄次 (34E)



催されました。午前中は恒例の支部グラウンドゴルフ大会で幕を開け、前半の16ホールを2本のホールインワンで33打という好スコアの鈴木支部長が、後半16ホールもホームコースの利を生かし、ハンディ6打を加えても80打(2位は92打)で優勝しました。

昼食会はマロウティン熊谷ホテルで中華料理を満喫しました。午後は緑化センターで支部定期総会を開催し、厳しい高齢化社会を乗り越えるための議論をして午後3時に散会しました。

支部定期総会

平成30年度支部定期総会は、3月31日(土)本部より腰塚会長・二渡校長・上事務局長の3名と支部から11名が出席し、熊谷市で開

静岡支部

支部事務局長 野竹康和 (40E2)

静岡支部設立

22年を振り返って 当支部の設立は、平成9年4月です。前年より関西支部の支部長の今井氏が、1期生の同期で焼津市に住む大澤房次郎氏と共に県内の卒業生のところを訪

問、10数名の賛同を得、晴れて静岡支部設立となった訳です。設立への準備も、大澤先生が出席し設立総会の事、

納昭一氏の染色工場見学、琵琶湖、竹生島(宝厳寺) 西国30番札所へ近江今津港からの船旅、マキノ高原メタセコイア並木散策を含めた琵琶湖湖西地区の秋祭りを満喫してきました。

会則の事等を検討アドバイスを頂いた。役員選出では、これから中長期的に渡って会を運営するのだからと初代支部長には高草木敏夫氏(38M)、副支部長に野竹康和(40E2)、右坂富雄氏(40E2)と理事数名を選出し支部発足となり、会員数30名でスタートしました。

全国高等学校ロボット競技大会

山口県周南市にて

今年の全国高等学校ロボット競技大会は明治維新150年を記念して、多くの偉人を生んだ山口県の周南市キリンパレット周南総合スポーツセンター会場で行われました。県予選では優勝することができ、全国大会に

出場しました。桐工黒星キリンクラブ(フスター)が出場しました。競技内容は山口県を象徴する建造物・特産物をモチーフにしたコースで、予選はより多く得点を重ね、決勝では白熱したロボット同士の対戦を行い、リモコン型・自立型

ロボットにそれぞれの課題をクリアしながら得点を重ねていく競技です。全国大会での本校の結果は、1・2チームで予選を行い、上位48チームが

決勝トーナメントに出場でき、桐工黒星は350点獲得し、全体26位で予選突破することができました。そして、第一回戦は岡山県立岡山工業高校と対戦し、310対210で勝利することができ、第二回戦ではリモコン型

ロボットのトラブルにより敗退してしまいましたが、群馬県の出場チームの中では唯一決勝に進出し、対戦で勝利できたことは誇りに思います。今回、全国大会に参加できたロボット部一同は、技術・知識を学べたことだけでなく、責任感や協調性を身に付けることができ、かけがえのない思い出を手に入れることができた。今後の経験を活かしていければと思います。

に夢中になり、中には感極まって落涙する方も多くいました。

支部長は転居によって、松村元夫氏(28M)に、現在の支部長は石原文夫氏(30M)になり、今日に至っており、会員数は少ないが、少数精鋭で「静岡支部ここにあり」と頑張っています。



設立総会は同年4月、静岡のアソシエで開催。17名の支部会員の出席と本部からは尾池校長、五十嵐同窓会長、中里事務局長、関西の今井支部長、中部の蟹江支部長を迎えて、盛大に開催しました。懇親会に移ると皆さんは、昔の友との話

定時制陸上競技大会

砲丸投げで全国2位

定時制4年生の中村政太が、第53回全国定時制通信制陸上競技大会の男子砲丸投げで2位に入賞することができた。昨年のこの大会で砲丸投げ3位になったことから、全国大会へ自信を持って望むことができていた。

迎えた全国大会では予選を通過した後、午後の決勝に進むと雨雲が接近し駒沢競技場の上空が怪しくなってきた。二投目を投げ終えた頃から雨が降り出し、三投目を投げ始める時には激しい雨に変わっていた。競技が終わり、優勝を目指してきたが2位になってしまった中村へ、努力してきた歩み振り返ると、桐工黒星は350点獲得し、全体26位で予選突破することができました。

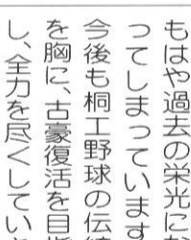
中村は「悔いの無い練習をやってきたので、記録は満足ではなかったけどやりきった思いがあります。」と話した。そして「陸上を通して学んだことは、努力をすること。苦手なことでも少しずつやるという習慣となり克服する。それは今後忘れられない人生に生かしたい。」と感謝の気持ちを込めて話してくれた。

部活動紹介

硬式野球部

部員33名(1年12名、2年11名、3年10名)の硬式野球部は、保護者会、OB、地域の方々などのあたたかいご支援の下、日々充実した活動を行っています。平日は20時過ぎまで基礎、実践の反復練習を行い、週末等の練習試合や年間3回の公式戦に向けて日々練習しています。

偉大な先輩方が残した実績は残念ながら、もはや過去の栄光になってしまっています。今後も桐工野球の伝統を胸に、古豪復活を目指し、全力を尽くしていきます。これまでと変わらぬご支援をどうかよろしくお願い致します。



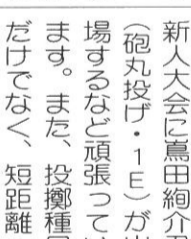
桐工バスケット部は勝つことを最大目標とし、バスケットを通して人と成長することを最終目的、両者を達成するために日々努力しています。H28年

陸上競技部

陸上競技部は、3年生8名、2年生6名、1年生7名の21名で活動しています。

今年度は県大会で入賞した部員数は昨年に比べて減りましたが、関東総体及び関東選抜新人大会に島田純介君(砲丸投げ・1E)が出場するなど頑張っています。また、投擲種目だけでなく、短距離・長距離の部員も着実に力をつけており、シーズン末から来シーズンに向けての活躍も期待されます。まもなく本格的な冬季トレーニングの時期を迎えますが、怪我に注意し毎日の練習に専念し、日々の練習に専念し、強い桐工の復活を目指していきます。

今後共、ご支援よろしくお願い致します。



今年度の自動車部の活動における最大のニュースは、6月に行われた「Hondaエコマイレッジチャレンジ」もて

ダンス愛好会

ダンス愛好会は、2年生14名、1年生9名の計23名で活動しています。

この2、3年間で、入部してくる新入生が増え、今年度は念願の桐生八木節まつりのダンス八木節のコンテスト部門に出場しました。来年、入賞することを目指して日々精進していきます。

今年度の部活動は、陸上部1名と卓球部1名が全国大会出場を果たしました。同窓会より沢山の励みをお寄せいただきましたことに改めて感謝申し上げます。お陰様で、陸上の砲丸投げで全国第2位という成績を残すことができた。2年連続表彰台という偉業に刺激を受け、他の生徒たちも、仕事の疲れを忘れて放課後の部活動に打ち込んでいます。

定時制の職員室は生徒や卒業生でいつも賑やかです。生徒と職員の良い関係は、今後も受け継がれています。同窓生の皆様には、今後とも、ご指導ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。



事務局だより

役員変更

・関西支部事務局長 宮根賢毅氏(非破壊検査サービスマン 顧問) 退任H6より30、25年間力を賜り厚くお礼申し上げます。

・定時制は今年で開設74周年を迎えました。在籍者は、1年16名・2年12名・3年17名・4年12名の全57名です。少子化により定時制全体の志願者が減少する中では、安定した生徒数を維持しています。

・今年度の部活動は、陸上部1名と卓球部1名が全国大会出場を果たしました。同窓会より沢山の励みをお寄せいただきましたことに改めて感謝申し上げます。お陰様で、陸上の砲丸投げで全国第2位という成績を残すことができた。2年連続表彰台という偉業に刺激を受け、他の生徒たちも、仕事の疲れを忘れて放課後の部活動に打ち込んでいます。

・前号から同封の趣意書に記しましたとおり、会報発送対象者の見直しを始めました。御陰様により協力金は増収しました前年比。御礼申し上げます。引き続き、全会員へ発送できますようご協力をお願いします。

・桐工助成金・部活動振興費・今年度も執行しております。

・移りゆく時代の流れと共に、少子高齢化の波を受けながらも聞こえてくる教室や校庭からの喧騒。これからも同窓生や在校生の活躍をお伝えして参りたいと思います。



事務局長だより

役員変更

・関西支部事務局長 宮根賢毅氏(非破壊検査サービスマン 顧問) 退任H6より30、25年間力を賜り厚くお礼申し上げます。

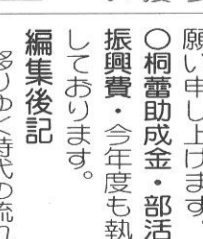
・定時制は今年で開設74周年を迎えました。在籍者は、1年16名・2年12名・3年17名・4年12名の全57名です。少子化により定時制全体の志願者が減少する中では、安定した生徒数を維持しています。

・今年度の部活動は、陸上部1名と卓球部1名が全国大会出場を果たしました。同窓会より沢山の励みをお寄せいただきましたことに改めて感謝申し上げます。お陰様で、陸上の砲丸投げで全国第2位という成績を残すことができた。2年連続表彰台という偉業に刺激を受け、他の生徒たちも、仕事の疲れを忘れて放課後の部活動に打ち込んでいます。

・前号から同封の趣意書に記しましたとおり、会報発送対象者の見直しを始めました。御陰様により協力金は増収しました前年比。御礼申し上げます。引き続き、全会員へ発送できますようご協力をお願いします。

・桐工助成金・部活動振興費・今年度も執行しております。

・移りゆく時代の流れと共に、少子高齢化の波を受けながらも聞こえてくる教室や校庭からの喧騒。これからも同窓生や在校生の活躍をお伝えして参りたいと思います。



・移りゆく時代の流れと共に、少子高齢化の波を受けながらも聞こえてくる教室や校庭からの喧騒。これからも同窓生や在校生の活躍をお伝えして参りたいと思います。